

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年11月10日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670400219
法人名	医療法人 二三和会
事業所名	グループホーム わかば
所在地	鹿児島県枕崎市若葉町85番地 (電話) 0993-73-5101
自己評価作成日	令和元年9月27日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和元年11月3日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・地域の行事に参加したり、戸外で季節の行事に触れたり、定期的に他施設や近隣の保育園とも積極的に交流している。また、ボランティアによるお話の会を開催する等して、地域との交流を大切にしている。
- ・法人の祭りや敬老会・クリスマス会などのイベントに多くのボランティアに参加して頂き交流を図っている。
- ・カラオケの好きな方には、カラオケを楽しんで頂いている。
- ・気持ちの良い言葉での声かけ・笑顔・笑い声のある心地良い環境作りを心掛けている。自分の身内・家族のように接することで、我が家にいるような気持ちになって楽しく過ごして頂けるように、アットホームな生活環境作りを大事にしている。
- ・研修会等に積極的に参加し、情報収集に努めサービスの質の向上に取り組んでいる。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は母体が医療法人であり、24時間医療連携体制が整っている。隣接して同法人のシニアハウスがあり合同敬老会や法人の研修会・二三和祭りに参加する等、法人内で連携した取り組みができています。
- ・運営推進会議は、身体拘束禁止の取組み・転倒防止について・感染症防止対策等、充実した内容になっている。近隣のグループホームからも参加して双方から情報を伝えている。
- ・地域との交流を大切に、地域の行事、新年会参加、ほぜ祭りの見物、港祭りの子供神輿はホームに来て披露がある。ボランティアの受入れや保育園児との交流会等を行っている。消防訓練には近隣住民の協力があり、野菜の差し入れ等もあり、日常的に交流している。
- ・入居者の残存機能の保持に努め、計算ドリル・数字並べ・牛乳パック切・塵箱作り・つわの皮むき・外出支援等、メリハリのある暮らしを行っている。
- ・管理者は職員の働きやすい環境を整え、職員の研修会参加や資格取得を奨励し協力している。職員は自己研鑽に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念に基づいた仕事ができるよう毎朝理念を唱え、理念を意識しながら日々のケアに当たり努力している。	理念は、重要事項説明書に記載しトイレや玄関に掲示している。全員で毎朝唱和している。唱和の後、ミーティングで振り返り、話し合い、理念を共有し支援にあたっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・自治会に加入し地域の行事に参加している。また、保育園や他のグループホーム等との交流も積極的に行っている。	自治会にはいり回覧板で情報を得ている。地域の新年会に参加したり、ほぜ祭りの見物や港祭りの神輿はホームまで来て披露がある。保育園児との交流会やボランティアも受け入れている。消防訓練には地域の協力があり、散歩の時、声かけや写真を撮ったり、野菜の差し入れ等があり、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議において民生委員や地域代表の方に出席して頂き、理解してもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議時、事業所の報告を行い、出席者より意見・質問・要望等を受けながら、ミーティングで検討しながら、サービスの向上に努めている。</p>	<p>2ヶ月毎に開催している。入居者の生活状況・行事報告・インシデント・外部評価結果報告を行い意見交換している。転倒防止対策の資料の配布やアンケートの結果・身体拘束についてや避難訓練実施等を報告している。意見・提案があり、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議や毎月の報告書等を届ける際に実情を伝えながら、協力関係を築くように努めている。</p>	<p>市の担当者とは電話や窓口に向いて、インシデントや入院関係の報告をしている。ホームの実情を伝え相談や助言を貰っている。運営推進会議でも連携を取っている。市主催の研修会やグループホーム連絡協議会には積極的に参加して、協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月のミーティングの際、身体拘束廃止委員会を行っている。身体拘束の弊害を理解し、普段より拘束はしないケアをしよう意識し、身体拘束は行っていない。玄関は施錠せず、センサーにて見守りを行っている。</p>	<p>毎月ミーティングの時に身体拘束廃止委員会を実施、勉強会を行っている。言葉の拘束も事例を挙げて拘束をしないケアに取り組んでいる。日中は施錠はせずセンサーで対応している。近所の方にも連絡をお願いしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	虐待について勉強会を行い、虐待のないケアを実践している。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	日常生活自立支援事業や成年後見制度についての勉強会を行って、必要に応じて活用できるように努力している。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約時や改定時は、個別や全体に説明を行い、理解・同意を得られるようにし、契約書や同意書に署名して頂いている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	玄関にアンケート・苦情相談ポストを設けている。また、行事や面会時に入居者・家族の意見を把握するようにしている。	利用者からは、ケアの中で声かけや表情・所作・行動で把握している。家族からは面会の時や誕生会・新年会・敬老会等、行事の時に聴いている。本人・家族の思いを把握し、外出時の衣服や靴に配慮して対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月のミーティングや、年2回の個人面談にて意見や提案を聞き、反映できるようにしている。	管理者と職員は意見や要望を言いやすく、働きやすい環境がある。ミーティング等で意見を聞いている。随時、個人面談で対応している。休みの取り方も消化できるように配慮している。意見や提案は、反映させている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人用目標シートや出来る職員の行動の冊子を利用しながら、各自が向上心を持って働けるように努めている。年2回の個人面談時要望を把握するように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体の研修会や外部からの研修案内を活かし、できるだけ職員がいろんな研修会に参加できるように努めている。必ず年1回は外部の研修会に参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームとの交流会を定期的に行い、お互いに情報交換や相談などを行い、質の向上に努めている。また、地域密着型介護事業所の管理者会議にも出席し、ネットワーク作りにも努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者と会話しながら、不安に思っている事や要望などを聞いている。また、できるだけ家族にも声かけを多くし、情報を得るように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時に声かけをするようにし、家族が困っている事、不安に思っている事、要望等を聞き関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前利用していたサービス事業所の情報や、本人・家族より情報を聞き、必要としている支援を見極め対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	声かけ見守りをしながら掃除や洗濯物たたみ・お膳拭き・野菜の下ごしらえ・シーツ交換など入居者の能力に合わせ、一緒にして頂きながら関係作りを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族に現状を報告し、本人と家族の意見を尊重しながら、家族が気軽に訪問でき、本人と居心地の良い時間を過ごせるような雰囲気作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人が訪問して頂ける様、気軽に訪問できる雰囲気作りに努めている。	家族や近所の友人の訪問がある。美容師の訪問もある。ドライブで自宅に行ったり、家族の協力で外食や買い物に出かけている。ほぜ祭りに行ったり、お盆には帰宅する利用者もいて馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	トラブルにならないように常に席の配置を考慮している。雰囲気大切にしながらスタッフが間に入り、楽しい会話ができるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院先に状態を見に行ったり、病院の相談員や家族に連絡して状態把握しながら、家族の相談にも応じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	家族や本人との会話や行動から、思いや意向の把握に努めている。	職員は利用者への担当制があり、部屋の掃除の時や便りを通して話かけたり、訪問時に家族への声かけをして希望や意向を把握している。困難な場合は家族に尋ねたり、職員と話し合い本人本位に対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	基本情報シート、暮らしの情報シート、在宅時のケアマネ・主治医からの情報提供書等を活用し把握に努めている。また、面会時にも声かけし情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の情報を職員全体が把握し、申し送りを確実にする様に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の意向を尋ねながら、主治医・PT・OT・管理栄養士。薬剤師・スタッフの意見などを聞きながら介護計画を作成している。	本人や家族の希望を聞いて、主治医や関係者の意見を入れて担当者会議を開き、介護計画を作成している。モニタリングは毎月行い、見直しは3ヶ月で行っている。状況に変化があった時は、その都度見直しして現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送り時のカンファレンスや申し送りノート・ミーティング・個別記録等を活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・家族の状況に応じて出来ない事は、スタッフが支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	保育園やお話の会・夏祭り・花見・地域行事の十五夜やほぜ祭りに参加できるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院にはスタッフが同伴し、他の医療機関には家族と必要に応じてスタッフが対応し、適切な医療が受けられるように支援している。また、必要に応じて、病院の相談員を介して相談も行っている。	かかりつけ医は、家族の希望を大切にした医療機関になっている。受診は家族が同伴しているが、状況によっては職員がしている。医療機関へ日常の状況を口頭や書類で報告し、適切な医療が受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>気づいた事は看護師に伝え、受診したり様子観察で良いか判断したりしている。また、必要に応じて主治医に電話で相談し受診等を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した時は状態把握をする為に面会に行ったり、病院関係者より情報を得るようにしている。退院前カンファレンスにも参加し、今後についても相談を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時や入居途中で重度化した場合等についての考えを尋ねるように努めている。また、担当者会議や状態変化があった時に話し合っている。</p>	<p>重度化した時の指針を家族に説明し同意を得ている。状況が急に変化した時、食事が摂れなくなった時等の家族の意向や方針を話し合い、入院等を視野に入れて、常に家族と連絡を取っている。経過記録を家族に説明し、家族の意向に沿った支援をしている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変や事故発生時は看護師への連絡や、応急手当の方法の研修や説明をしている。また、アクシデント等があった際は、全員でミーティングを行い今後の対応を検討している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>近隣の方にも避難訓練への参加要請を行い、年2回の消防・避難訓練にも参加していただきながら実施している。自衛消防組織図を作成し、災害時に自分は何が担当か職員全員に周知徹底している。</p>	<p>避難訓練は年に2回実施している。1回は消防署立ち合いで夜間を想定し消火訓練を実施。避難経路・避難場所の確認。自動通報装置も設置。避難後の見守りを地域住民が協力している。防火管理者を中心に自衛消防組織もある。防災設備は業者が定期的に点検している。備蓄は水・缶詰・干物・カセットコンロ等、用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報取り扱いに関しては職員採用時に契約書を交わし、記録物は他者の目に触れないように保管している。入居者への声かけには親しみの持てる思いやりのある声かけを行っている。	マニュアルがあり、勉強会を行っている。採用時に個人情報について職員と契約書を交わしている。トイレ誘導の声掛け、入浴時の羞恥心、職員同志の話の気配り、記録物の取り扱いに注意し、人格を尊重してプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で入居者の好きな事を見つけたり、希望の把握に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせて、無理なく過ごして頂けるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自分で出来る方には入浴後に着る衣服等を準備して頂き、各行事やイベントの際は、家族が準備して下さったおしゃれ着を着用できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の食事やおやつが偏らず、食べやすいように工夫している。また、行事食や誕生日会食等に変化を持たせ、食べる楽しみに配慮し提供している。	法人の管理栄養士の献立を参考に、嗜好やアレルギーを把握し形態にも気配りして提供している。行事食はお花見・誕生会・敬老会・クリスマス等、食事が楽しみなものになるように工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人内の管理栄養士にアドバイスを頂き、献立表を作成している。食事量はその人に合わせ提供し、毎日摂取量を記録している。また、毎日水分量をチェックしながら、必要量が摂れる様に飲み物にも工夫を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声かけを行い、見守り・介助を行っている。口腔内に問題のある方には、歯科医師や歯科衛生士の方に依頼して訪問指導を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間誘導を行いながら、個々の排泄パターンを把握し、時間に関係なく個々に合わせて、声かけ等を行っている。また、できるだけパットやリハパンツの使用を少なくし、布パンツに変更している。	自立に向けた支援をしている。できるだけトイレでの排泄を支援している。夜は排泄チェック表の記録を参考に、個々に合わせて誘導している。起床時の声掛けにも気配りしている。布パンツに改善できた利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排泄パターンを把握しながらトイレ誘導や、腹部マッサージ・サンファイバー、緩下剤等利用している。出来るだけ水分を摂って頂く様に、時期に応じて飲み物の工夫も行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個々の体調やタイミングに合わせて、無理のないように週2回の入浴を行っている。	入浴は週に2回、午前中に気分や体調に合わせて、柔軟に支援している。入浴を嫌がる方は声かけの工夫をしたり、職員間の連携で、時間のタイミングを見て支援している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中ラジオ体操や歩行訓練・散歩等を行っている。また、個々の体調に合わせて、午前のおやつ後や昼食後等にベッド臥床させている。部屋では寂しい方には、ソファでゆっくりできるように環境作りをしている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が服薬管理を行い、症状の変化・副作用等の観察を行い、状況に応じて主治医に相談している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>洗濯物たたみ・お盆拭き・新聞紙たたみ・ポリデントの袋詰め等、個々の能力に応じて手伝って頂いている。また、誕生日会・敬老会・クリスマス会等の行事の際に、踊りや歌を唄って楽しんで頂いたりしている。保育園・ボランティアの方々、他のグループホームとの交流も図りながら、気分転換を図っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>希望があれば、できるだけ近所を散歩したり、ドライブに出かけている。また、家族の方に協力を頂きながら、外出の機会が多くなるように支援している。</p>	<p>日常的には外気浴や散歩をして、地域の方とあいさつを交わしている。年間計画で花見に行ったり、立神公園へのドライブやほぜ祭りに行っている。公園でおにぎりを食べることもある。車椅子や歩行器・杖利用の利用者も外出して気分転換している。家族の協力もあり買い物や外食に出かけることもある。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人がお金の所持が困難な為、個別に家族より預かっている。希望時一緒に出かけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	遠くに住んでいる家族の方からの贈り物が届いた時は、お礼の電話が出来るように支援している。また、一人での利用が困難な入居者に対しては、個別に利用できるように支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やホールに飾りつけを行い季節感を取り入れ、冷暖房・扇風機・カーテンなどをうまく利用している。清潔面に気をつけながら、不快な所がないよう気をつけている。	玄関は広く、ホールは天窓があり明るい。室温・湿度・換気等の空調管理が適切である。対面式台所でホールの利用者と話ができ、調理の様子も分かる。壁に行事の写真や折鶴があり、音楽が流れて居心地よく過ごせるように工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う入居者同士や本人の希望等を考慮して、定期的に席替えを行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、ゆっくり休めるよう清潔に保っている。また、面会時ゆっくり会話が楽しめるように、環境作りに努めている。	ベッドやエアコン・タンスが設置してある。家から使い慣れた毛布や布団・家族写真・時計・曆等が持ち込まれ、居心地よく過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリーになっており、歩行時の手すりも設置している。トイレ・洗面所・風呂場・自席がわかるように表示している。テーブルや椅子などは丸みのある物を使用し安全な生活が送れるように工夫している。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない